

磐城新聞

(刊夕日四) 第三千九百九十二号

七夕祭り

別れゆかばまた 一と年は術もなき

天の川邊のローマンス
榎本 紀一

「たまさかの突如知らば七度七月七日の夜だけ牽牛の夕の逢ふ夜の鳥よ心して啼きよことを許し禁足を命じよけ」……今年もまた七夕の夜。快樂と官能の刺激とを求めた現代人の悩みを昔に返して身から出た錆とせよ。……

それは一年のうちたゞの二日はあまりにいぢらしい夜七夕の二星は七月七日にいつて支那の詩人は白雲のみ相逢はれる宿命にある三才式の長詩二篇をつくつた。……

純情な戀の美酒につて天上にはつるの日のなき戀人の琴線をかきながら戀む二人の星を思ふたば二人二人とつて幾夜待ちがそれが日本に傳つてきて七夕の一夜はどんなにからかぬに歌作られた感しどんなに思ふたばの情を受け平安朝出でて印象づけたことであらうから七夕の星祭りといふ。……

若しも不幸に惜やむたば村の乙女たの雨が降つたしたら天の川の柔かな胸に憧れのとき川の水量は忽ち増して二人めきと彼女たちの赤い逢ふ潮の潮は断たれ悲しに唄はれるようになつてしよ……

た逢ふ潮も叶はぬといふ物……
世にも稀な美女織女が父の神秘的な傳説にたいく心天の川のほとりにたのむかされてかたかたも自こしい戀人と長い一年にた分の戀の幸多かれと祈るが一夜逢ふことか許さぬ……

誰にも知られてゐるようには階級や身分地位に自由を七夕の二つの星は男性を牽束縛せしむるに純真な戀に傳へられては男性は彦星朝時代の乙女たちの胸をこめ織女はもて天帝の姫美女だらう。……

磐新顧問

(問) 私の叔母は戸主の弟に當る夫が死したつて四人の子供を連れて分家した。……

(答) 叔母の権利義務を繼承した遺産相続人は四人のお子さん達です。……

(問) 弟妹には暴虐、家の金を持出して放蕩三昧です。……

(答) 管理上によつては出來ませぬか(愛護)……

(問) 弟妹には暴虐、家の金を持出して放蕩三昧です。……

(答) 管理上によつては出來ませぬか(愛護)……

(問) 弟妹には暴虐、家の金を持出して放蕩三昧です。……

(答) 管理上によつては出來ませぬか(愛護)……

講談

高橋太一郎創作

高橋太一郎創作 信長は使を發して順逆を説いたが聞かすに於て近畿時に信濃の諏訪に在る凡ての兵力凡ての宗子、信長の子信忠五萬人を以て、……

信長は使を發して順逆を説いたが聞かすに於て近畿時に信濃の諏訪に在る凡ての兵力凡ての宗子、信長の子信忠五萬人を以て、……

信長は使を發して順逆を説いたが聞かすに於て近畿時に信濃の諏訪に在る凡ての兵力凡ての宗子、信長の子信忠五萬人を以て、……

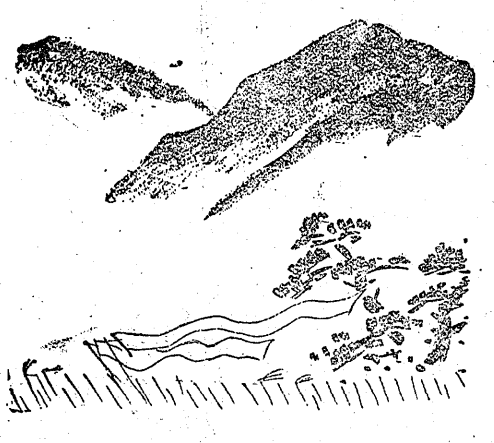
信長は使を發して順逆を説いたが聞かすに於て近畿時に信濃の諏訪に在る凡ての兵力凡ての宗子、信長の子信忠五萬人を以て、……

信長は使を發して順逆を説いたが聞かすに於て近畿時に信濃の諏訪に在る凡ての兵力凡ての宗子、信長の子信忠五萬人を以て、……

信長は使を發して順逆を説いたが聞かすに於て近畿時に信濃の諏訪に在る凡ての兵力凡ての宗子、信長の子信忠五萬人を以て、……

信長は使を發して順逆を説いたが聞かすに於て近畿時に信濃の諏訪に在る凡ての兵力凡ての宗子、信長の子信忠五萬人を以て、……

信長は使を發して順逆を説いたが聞かすに於て近畿時に信濃の諏訪に在る凡ての兵力凡ての宗子、信長の子信忠五萬人を以て、……



龍虎相搏

雪中人活劇 全七卷
快活ウイリアムラッセル氏
名花エリナーボットマン嬢
廣原大冒險劇 全六卷

雪中人活劇

全七卷
快活ウイリアムラッセル氏
名花エリナーボットマン嬢
廣原大冒險劇 全六卷

雪中人活劇

全七卷
快活ウイリアムラッセル氏
名花エリナーボットマン嬢
廣原大冒險劇 全六卷

雪中人活劇

全七卷
快活ウイリアムラッセル氏
名花エリナーボットマン嬢
廣原大冒險劇 全六卷

雪中人活劇

全七卷
快活ウイリアムラッセル氏
名花エリナーボットマン嬢
廣原大冒險劇 全六卷

雪中人活劇

全七卷
快活ウイリアムラッセル氏
名花エリナーボットマン嬢
廣原大冒險劇 全六卷

雪中人活劇

全七卷
快活ウイリアムラッセル氏
名花エリナーボットマン嬢
廣原大冒險劇 全六卷

雪中人活劇

全七卷
快活ウイリアムラッセル氏
名花エリナーボットマン嬢
廣原大冒險劇 全六卷

クノ一散

のんですくすく
神経痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のこり、其他疼痛時服用すれば奏効的確なり
論より證據直ちに試みられよ
定價 三錢、五錢、一圓

平町各藥店ニテ特約販賣致しませ

平町各藥店ニテ特約販賣致しませ

平町各藥店ニテ特約販賣致しませ

平町各藥店ニテ特約販賣致しませ

平町各藥店ニテ特約販賣致しませ

平町各藥店ニテ特約販賣致しませ

平町各藥店ニテ特約販賣致しませ



生殖機能

衰弱を歎く人
旺盛を欲する人に
トツカピン

トツカピン

何ともいへぬ人間味！
……

トツカピン

……

トツカピン

……

トツカピン

……

トツカピン

……

トツカピン

……

……

……

……

……

……

……

……

……

